



新型コロナウイルス感染症 対策指針

【学生・保護者用】
第1版

令和2年9月1日

鳥羽商船高等専門学校

はじめに

新型コロナウイルス感染症が全世界で蔓延し、WHOがこの流行状況について2020年3月11日にパンデミック相当との見解を示しました。

日本国内においても2020年1月16日に初めて感染者が確認され、首都圏、関西圏、中京圏等いわゆる人口過密地域で感染者が急激に増加しました。

その後、地方においても人の移動等による感染の広域拡大が確認され、全都道府県で感染者が確認されたところです。緊急事態宣言が解除され、落ち着いたかにみえましたが、2020年7月上旬から東京都を中心に首都圏で感染者数が日々増加し、全都道府県に広がりを見せ、第2波とも言える状況となっています。

本校が所在する三重県鳥羽市においては、幸いにもクラスター感染などによる爆発的な感染者の増加は見られませんでしたが、新型コロナウイルスが消滅しない限り、いつ、また、どこで感染者が発生するか全く予想ができないというのが現状です。

この指針は、本校が対面授業を開始するにあたり、在籍するすべての学生の皆さんに安心して学校生活を送ってもらうことを目的に作成しました。

第1章「対応方針と体制」、第2章「新しい生活様式の実践」として、関連するお知らせ、マニュアル等を掲載しています。

本校に在籍する学生の皆さんには新型コロナウイルスの特徴を理解し、正しく恐れて適切な対応をしていただき、「感染しない」、「感染させない」を常に意識していただき、感染リスクを最大限抑える努力をお願いします。

目 次

第1章 「対応方針と体制」

1. 鳥羽商船高専における新型コロナウイルス感染症への対応方針と体制 1
2. 体調管理について 3
3. 新型コロナウイルス感染症類別対応フローチャート 4

第2章 「新しい生活様式の実践」

4. 学校生活における「新しい生活様式」ハンドブック 7

第1章

対応方針と体制

1. 鳥羽商船高専における新型コロナウイルス感染症への対応方針と体制

本校は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況に鑑み、学生及び教職員の安全確保を最優先するとともに、感染拡大を防止し、コロナ禍においても高等教育機関として社会的責任を果たすため、以下の対応を講じてまいります。

対応方針

【基本方針】

1. 学生・教職員の感染予防および感染拡大防止対策に万全を期し、健康被害を防ぐ。
2. 学生の教育への影響を最小限にとどめるため、通常授業の実施を基本とし、学生の安全が確保できないと判断される期間は遠隔授業を実施する。
3. 国、地方自治体等及び高専機構の方針および地域の感染状況等を踏まえ、柔軟に対応する。

【教職員の出勤時・勤務時・出張等における対応】

1. 教職員は出勤前に検温実施し、9時30分までにアプリへ入力する。強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）もしくは、発熱等の風邪症状がある場合には出勤を自粛する。
2. 教職員の同居者に、発熱が続くものがいる場合にも出勤を控える。
3. 新型コロナウイルス感染症の罹患者又は濃厚接触者と接点のあった教職員は、外出・出勤を控える。
4. 出勤時、帰学時の手洗い、アルコール消毒、マスク着用を励行。
5. 出張する場合は、出張先の感染者情報に十分注意し、出張前後の自己体調管理をしっかり行う。
※TV会議等の選択が可能である場合は、そちらを選択する。
6. 海外出張の原則禁止。

【イベント等】

1. 本校主催の学生・保護者向けイベントは、インターネット会議へ変更、もしくは原則延期・中止。
2. 学校外で実施されるセミナーやイベントへの参加は、3密対策等を確認し参加の可・否を検討する。

【その他事項】

上記対応は現時点でのものであり、今後、状況の変化により、適切に検討してまいります。

体制

【プロジェクトチーム（PJT）】

1. 臨時開催も含め、変化する状況や事象に迅速に対応する。
2. 必要応じて構成員以外の出席を求める。
3. 各部署からの報告や提案に基づき、基本的な対応・対策を決定する。

【危機対策本部】

1. 複数の感染者が発生した場合など、学校の閉鎖も考慮する必要があると判断される場合に校長が召集する。
2. 構成員は、鳥羽商船高等専門学校危機管理規則第8条による。

【リスク管理室】

1. 感染時フローなどの対応案について、リスク管理室長の要請に対して審議。
2. 構成員は、鳥羽商船高等専門学校危機管理規則第4条による。

【外部機関等との対応窓口】

総務課総務係に一本化する。

2.体調管理について

体調管理に関するお願ひ

1. 毎日の検温と体調確認

- (1) 每朝必ず体温を測定し、8時30分までに体調チェックアプリ（学生用）の項目を入力してください。
- (2) 登校前に発熱や咳、のどの痛みなどの風邪症状や普段とは異なる自覚症状がある時は登校せず、学校に連絡してください。

2. 登下校時

- (1) 必ずマスクを着用し、会話をする時は1メートル以上距離をとってください。
- (2) 移動中は、ソーシャル・ディスタンスを確保してください。
- (3) 登校後、必ず、すぐに手洗いや消毒をしてください。

3. 体調不良の場合

- (1) 登校後、少しでも具合が悪いと感じたときは、近くにいる教員に連絡するか、保健室に電話連絡し、保健室前のフロアへ移動してください。
- (2) 保健室で「感染が疑われる症状」に該当すると判断された場合
 - ①看護師が同伴し、百周年記念資料館3階に移動し、保護者が迎えに来るまで待機してください。
 - ②保護者に連絡し、迎えを依頼してください。
 - ③帰宅時には、公共交通機関の利用は避けてください。
- (3) 学寮で17時以降に体調不良を感じたときは、以下のとおり対応してください。
 - ①体調不良の場合は、自室で静養する。他者との接触を極力避けて行動してください。
 - ②夕食の提供に関して、弁当による提供も検討するため、当直教員等へ早めに相談してください。
 - ③就寝は、早めに行ってください。
 - ④就寝後について、体調が過度に悪い場合やその他不安な状況の場合は、「寮生夜間緊急連絡メール」にて、連絡して指示を待ってください。

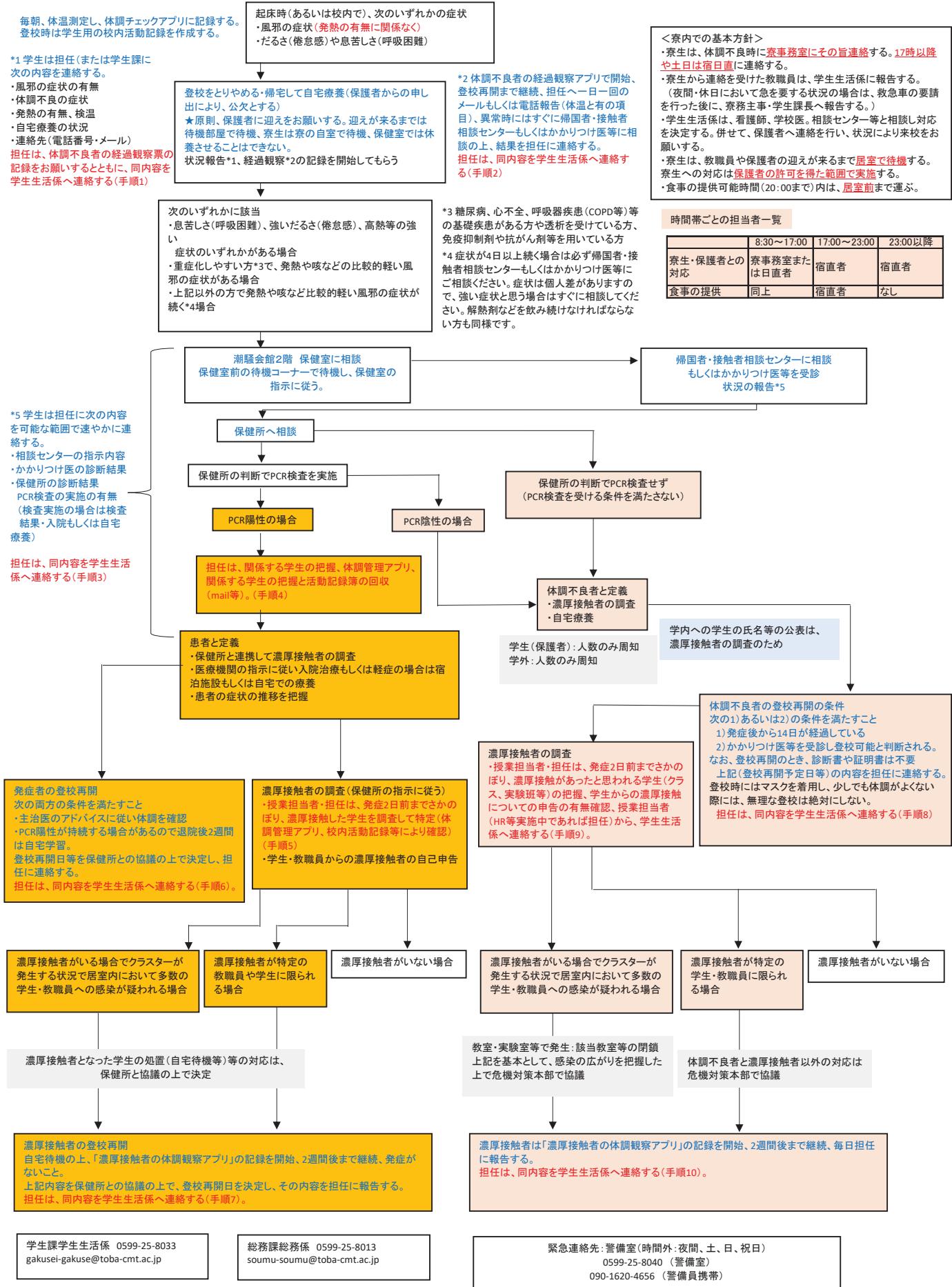
4. 移動について

県内外を問わず、繁華街等エリアへの往来は避けてください。

県外への移動については、必要性、移動先、今一度立ち止まって慎重に検討を行ったうえで行動してください。やむを得ず県外への移動を行った場合でも、直近2週間、毎日、体調チェックアプリの入力を実施し、健康面に異常がなく、かつ、移動後、引き続き体調チェックアプリで健康確認を実施している者は、健康面に異常がない場合は登校可とします。体調チェックアプリに未入力がある等、上記に該当しない場合は、（県内居住地に）帰宅後、2週間の自宅待機とします。

3. 新型コロナウイルス感染症対応フローチャート

体調不良者への対応(学生の対応と担任・授業担当者の対応)

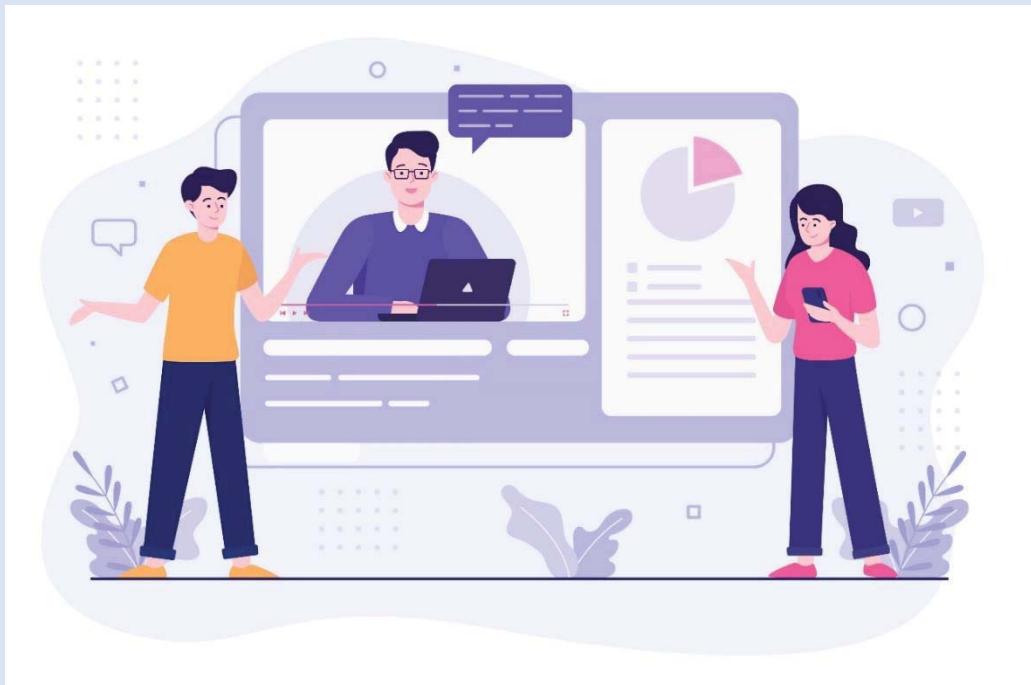


本資料は、日本渡航医学産業保健委員会と日本産業衛生医学会海外勤務健康管理研究会が作成した「新型コロナウイルス情報 企業と個人に求められる対策」、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症に関する発表資料を元に本校に沿うよう作成し、産業医に確認頂いた。

第2章

新しい生活様式の実践

学校生活における「新しい生活様式」 ハンドブック (2020年7月)



鳥羽商船高等専門学校

自分の身は自分で守る！

これまで、新型コロナウイルス感染症対策について、国、県、市町村等が一丸となって取り組んだ結果、9月1日現在は緊急事態宣言が解除されています。しかし多くの人々が言うように、新型コロナウイルスとの闘いは長期戦になると見込まれ、再び感染が拡大する可能性は十分にあります。

本校は、今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むとともに、皆さんが健康で安心した学生生活を送ることができるよう、学校全体でみなさんをサポートしていくつもりです。一方、皆さんも一人ひとりが、自分自身を、そして自分の大切な人を守るために、意識と行動を変え、これまで取り組んできた感染予防策を「新しい生活様式」として、日常生活及び学校生活のなかに定着させていく必要があります。

そこで、鳥羽商船高専では、面接授業を再開するにあたり、新型コロナウイルス感染症（COVICO-19）の感染防止のため、『学校生活における「新しい生活様式」ハンドブック』を作成しました。

本ハンドブックを参考に、「新しい生活様式」の定着に向けて、ご協力をお願いします。

最後に、本ハンドブックは、令和2年9月時点での知見に基づき作成したものです。今後、状況が変わった場合は、隨時見直しを行うものであることを申し添えます。

1. 日常生活における基本的生活様式

感染症対策の3つのポイントを踏まえ、取り組みを行ってください。

- ① 感染源を断つこと
- ② 感染経路を断つこと
- ③ 抵抗力を高めること

① 感染源を断つこと

- 毎日、検温及び風邪の症状を確認してください。

◆発熱等の風邪症状のある場合は登校せず、欠席連絡フォーム（なるべくこちら）または電話（担任または教務係 0599-25-8032）で連絡してください。

※新型コロナウイルスに関する欠席（風邪症状等を含む）の場合は、特別公欠願を提出することで、「欠席日数」とせずに「出席停止・忌引き等の日数」として取り扱います。

※特別公欠願は保護者印（保護者等が同居していない場合は除く）または寮務主事印を押印後、担任に提出してください。

◆登校後に体調不良となった場合、すぐに授業担当教員や担任、保健室（電話：0599-25-8034）に相談してください。通生に関しては、無理せず早めの早退をお願いします。寮生に関しては、担任または寮事務室に確実に連絡を取ってから寮の自分の個室に戻って静養してください。
※症状が回復した後も、学生自身で登校を決めるのではなく、保護者や必要に応じて係りつけ医に相談する等し、静養する期間を決定してください。

② 感染経路を断つこと

新型コロナウイルス感染症は、一般的に飛沫感染、接触感染で感染します。感染経路を断つためには、手洗い、消毒、咳エチケットが大切です。

- こまめに手洗いと手指消毒をしてください。

・手洗いは30秒程度かけて水と石鹼で丁寧に洗ってください。

●感染予防には手洗いが大切です！

手洗い手順（泡石けん液）



★手洗いのポイント

・手洗いは時間をかけて行いましょう。しっかりと泡立てることで、手全体のしわなどに石けんがつきます。

・指先、指の間、爪の間は洗ったつもりでも洗えていない場合が多いです。右の図を参考に意識して洗いましょう。

・手首までしっかり洗うことも大切です。

・ペーパータオルなどでしっかり乾燥させましょう。

●ハッピーバースデーの曲を石けんをつけてから2回、洗い流す時に1回歌い終わるくらいの時間をかけて手洗いしましょう。



手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



昼食の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを
触ったとき



手指消毒は正しい方法で

1



薬液をこぼさないように手のひらにとる。

2



指先（爪）によくすり込む。

3



手のひらによくすり込む。

4



手の甲にもすり込む。

5



指の間にもすり込む。

6



親指にもすり込む。

7



手首にも十分すり込む。
薬液が乾燥するまで、よくすり込む。

●手指消毒のポイント●

・指先から消毒すること

・特に登校時や食事前、トイレ使用後にはアルコール消毒をしましょう

- マスクを着用しましょう。



③ 抵抗力を高めること

- 免疫力を高めるため、十分な睡眠、個人でできる適度な運動、栄養バランスのとれた食事を心がけてください。

【集団感染のリスクへの対応】

- 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。
- 人との間隔は、できるだけ1メートル以上空けてください。
- こまめに換気をしてください。
- 「3密」を避けることや、周囲の人との距離（ソーシャルディスタンス）を保つことを意識してください。

「3密」

- 1 換気の悪い密閉空間(空気の入れ替えのできない場所、窓のない場所)
- 2 多数が集まる密集場所(たくさんの人人が集まる場所)
- 3 間近で会話や発声をする密接場面(人ととの間が近い場面)

- 不要不急の外出は控えてください。
- 県外への移動は控えてください。

2. 登下校の仕方

【登校前】

- 毎朝の検温及び風邪の症状を確認してください。
→毎日朝8時30分までに検温をし、体調チェックアプリ（学生用）の項目を入力してください。
＊登校前に、発熱、咳、喉の痛みなどの風邪の症状や、味覚・嗅覚に異常がある場合には登校せず、学校に連絡して、欠席してください。
【欠席の連絡】いずれかの方法で欠席の連絡を行ってください。
 - ①欠席連絡フォームによる連絡
 - ②学生課教務係（0599-25-8032）へ電話連絡

※なるべく①で連絡してください。

- ◆新型コロナウイルスに関する欠席（風邪症状等を含む）の場合は、特別公欠願を提出することで、「欠席日数」とせずに「出席停止・忌引き等の日数」として取り扱います。
- ◆特別公欠願は保護者印（保護者等が同居していない場合は除く）または、寮務主事印を押印後、担任に提出してください。

- 登校時の持ち物を確認してください。
 - ・ハンカチ　・ティッシュ　・マスク　・マスクを置く際の清潔なビニールや布

【各自に必要な持ち物】

- ・清潔なハンカチ・ティッシュ
- ・マスク
- ・マスクを置く際の清潔なビニールや布等



*換気を行うため、上着を持参するなど、各自で温度調節を行ってください。

【登下校時】

- 家を出るときは、マスクを着用してください。
- 登下校時、増便のバスが運行されている場合は、利用してください。

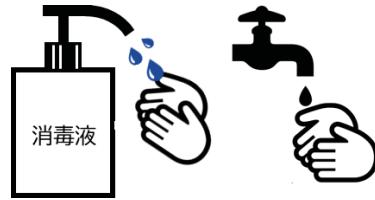
3. 学校内の基本事項

- 食事や水分補給、運動等以外は、症状がなくてもマスクを着用してください。
(但し、熱中症の危険がある場合、外してもよい。)
- こまめに手洗い・手指消毒を行ってください。
＊学校内の多くの場所に消毒用のアルコールを設置しています。
- 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。
- 登校後、体調不良がある場合には、電話連絡（0599-25-8034）した上で保健室前フロアに行き、看護師に申し出てください。
＊学校の指示に従い、速やかに保護者の迎えにより帰宅してください。

4. 学校内の衛生管理等

【学校到着から始業前】

- 登校後は、すぐに手洗い、また手指消毒を行ってください。

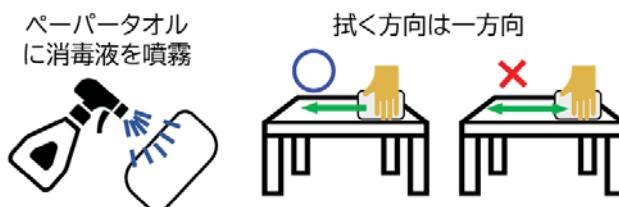


【教室】

- 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。

【昼及び放課後の消毒作業】

- お昼の指定された時間と放課後に教室の机とドアノブ等の消毒と換気を行ってください。



※教室の清掃は通常どおり担任の指示に従ってください。

※各教室や廊下など学内に設置している消毒液や清掃用具は学校の備品です。学生の皆さんのが共用する物なので持ち帰ったり、いたずらをしたりせず大切に使用してください。

消毒液：使用上の注意

- ・製品に記載されている「使用上の注意」をよく読んでから使用してください。
- ・作業中は必ず換気をしてください。

消毒用アルコール

- ・アルコール（エタノール）は引火性が強いので、下記に十分注意し、狭い場所で一度に長時間の作業は避けてください。静電気の火花にも注意してください。
- ・アルコール（エタノール）は清拭面（拭き上げ面）が変色する可能性があるため、作業前に目立たない所で確認すると良いです。

【授業中】

- 教室の窓、出入口は常時開けておいてください。
 - ◆1日の最後の授業後に窓を閉めてください。
 - ◆天候により、雨が室内に吹き込む場合や実験に支障がある場合等は適宜、窓の開け具合を調整する等し、場合によっては閉めても構いません。
 - ◆ロスナイ換気が可能であれば常時「入」にしておくようにしてください。



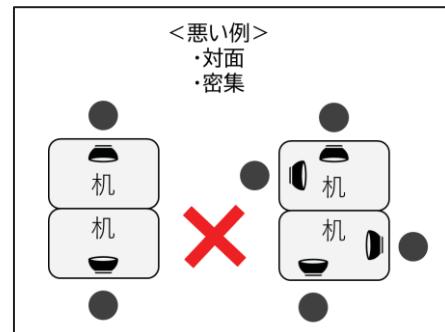
- 授業中の学習活動については、各科目担当の先生の指示に従ってください。

【休み時間】

- 手洗い・手指消毒をしてください。
- ロッカーや更衣室等を使用する場合は、密集しないよう気を付けてください。

【昼休み・昼食時間（教室）】

- 食事前は、手洗い・手指消毒を行ってください。
- 食堂及び教室の換気を徹底してください。
- 食事時も机の位置を動かさないようにしてください。
- 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。



【食堂・売店】

潮騒食堂の利用は、登校および面接授業への参加が認められている学生に限ります。

- 食堂への入退室時に、手指消毒を行ってください。
- 食堂内では、マスクを着用し、必要のない会話はしないでください。
- 列に並ぶ時は前の人との距離をとってください。
- 利用する席の消毒は、利用者が、利用の前後に、食堂に設置されている消毒用具で行ってください。
- 机、椅子、衝立は、対面で食事をしないように設置していますので、移動させないでください。

部・同好会の学生会活動及び体育施設利用に関する基本指針

1. 参加するための条件

登校および面接授業への参加が認められている学生に限ります。

2. 準備

(1) 体調確認

平熱を超える発熱がある場合や、風邪症状がある場合には、参加しないでください。

(2) 準備

マスク、タオル、給水ボトル（飲料）は、自分のものを用意してください。また、共用は絶対に行わないでください。

3. 活動

(1) 感染防止

密接対策：換気扇・サーキュレーターの利用や、窓の解放（30分に1回5分以上）などにより、換気を行ってください。

密集対策：互いの距離を、1～2m程度空けてください。

密接対策：対面による活動、近距離での会話や発声を可能な限り避けしてください。対面での会話をできるだけ避け、やむを得ない場合はマスクを着用してください。

手指消毒：手洗い、アルコール消毒を行うようにしてください。

(2) 活動方法

体育系の部・同好会が活動を再開する場合は、再開後2週間程度は、身体に負荷がかからないようにし、身体を活動に慣らすようにしてください。

活動の方法は、所属競技団体のCOVID-19 対策のガイドラインに従ってください。

唾や痰はティッシュなどに吐き、必ずゴミ箱に捨ててください。

(3) トレーニングルーム

密にならないように10人以内で使用してください。使用人数がこれより多い場合は、入れ替え制等で対応してください。ただし、1人の使用は危険防止のため禁止とします。

トレーニング器具は使用後、消毒してください。ベンチプレスの補助をする学生はマスクを着用してください。

(4) 更衣室・シャワールーム

他人との距離は1～2m程度確保し、大人数での使用は避け、同時使用は3名までとしてください。更衣室のドアノブの消毒を行ってください。シャワールーム利用後、水で流し清掃を行ってください。

(5) ゴミ

活動中に発生したゴミは、施設のゴミ箱に捨ててください。飲みきれなかったスポーツドリンク等は洗面所、トイレに捨ててください。

(6) 清掃

利用した施設・設備など共有物の清掃と消毒は、利用者が行ってください。

ドアノブをアルコール消毒してください。第一体育館、第二体育館、剣道場、柔道場、トレーニングルームについては、施設利用後、モップ掛けをしてください。

4. 活動記録

部・同好会の活動参加者を把握するため、活動参加者はWebで活動記録を提出してください。（感染者発生時の濃厚接触者への連絡、および消毒範囲の決定に利用します。）

5. 注意事項

部・同好会に配布した消毒用アルコールの容器の管理は、部・同好会で行ってください。アルコールの補充は、学生課学生生活係で行います。

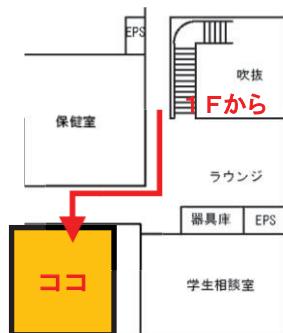
マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができずに人体に影響を及ぼす可能性がありますので注意してください。

【新しい生活様式による仮図書室の利用方法】

仮図書室を利用される方は、新型コロナウィルス感染対策として、次のことを守ってください。

- 登校時に検温し、マスクを必ず着用の上、入口で手指消毒してから入室してください。
- 入館者の記録のため、入室時に図書カードを提示してください。
- カウンター前に並ぶ時は、床の目印に従い、前の人との間隔を空けてください。
- カウンターでの本の受け渡しは、間仕切りの下からお願いします。
- 3密な状態を回避するため、入室人数を制限する場合があります。ご了承ください。

- 図書館改修工事のため、
仮図書室は潮騒会館2F。



- マスクを必ず着用し、
手指消毒してください。



- 本の受け渡しは、
間仕切りの下から。



- カウンター前に並ぶ時は、
床の目印に従ってください。



- 3密な状態を回避するため、
入室人数を制限する場合があります。



【その他の新型コロナウィルス感染対策】

仮図書室では、新型コロナウィルス感染対策として、上記の利用方法の他に次のことを実施します。

- 閲覧コーナー、PC検索コーナーは設置しません。
- 返却された図書は、翌日以降に書棚へ戻します。

	学校生活で気を付けること
登校前	<input type="checkbox"/> 毎朝の検温及び風邪の症状を確認する。 <input type="checkbox"/> 毎日朝検温し、体調チェックアプリ（学生用）の項目を入力 <input type="checkbox"/> 登校時の持ち物を確認する。 <input type="checkbox"/> ハンカチ・ティッシュ・マスク・マスクを置く際の清潔なビニールや布
登校時	<input type="checkbox"/> マスクを着用している。 <input type="checkbox"/> 3密に気を付けて登校している（増便のバスの利用など）。
学校到着時 (始業前)	<input type="checkbox"/> 登校後は、すぐに手洗いまたは手指消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 教室に入ったら可能な限り対面しての会話は控える。 <input type="checkbox"/> 窓を開けたり換気扇を稼働させたりして換気をする。
授業時間	<input type="checkbox"/> 教室の換気を徹底する（窓を開ける・ロスナイ換気は常時オンにする）。 教室が寒くなる場合があるので上着で調節する。 <input type="checkbox"/> 移動教室で授業がある場合は、移動先で手指消毒および机等の消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 討議が必要な場合は対面しながらの会話を控える。
休み時間	<input type="checkbox"/> 手洗い・手指消毒をする。 <input type="checkbox"/> ロッカーや更衣室など狭い室内では密集しないように気を付ける。
昼休み 昼食時	<input type="checkbox"/> お昼の指定された時間に、各自の机等の消毒、手洗い・手指消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 教室や食堂の換気を徹底する。 <input type="checkbox"/> 食事中は対面にならないように気を付ける。 <input type="checkbox"/> 会話をする時は、可能な限り対面しての会話を控える。
放課後	<input type="checkbox"/> 各自の机等の消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 授業等が終わったら、必要以上に教室に残らず速やかに下校する。

【日常生活における基本的生活様式】

- 毎日、検温及び風邪の症状を確認してください。（体調チェックアプリは毎日入力してください。）
- こまめに手洗いと手指消毒をしてください。
- マスクを着用してください。
- 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。
- 人との間隔は、できるだけ空けてください。
- こまめに換気をしてください。
- 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動、栄養バランスの取れた食事を心がけてください。
- 教室内の換気で室温が低くなる場合があるので、上着等で調節してください。
- 「3密」を避けることや周囲の人との距離（ソーシャルディスタンス）を保つことを意識してください。
- 不要不急の外出は控えてください。
- 県外への移動は控えてください。
- 登校後、体調不良がある場合には電話連絡した上で、保健室前フロアへ移動してください。